

## 2022 日本パッケージングコンテスト 王子グループ入賞作品のお知らせ

王子ホールディングス株式会社(社長:磯野裕之、本社:東京都中央区)は、公益社団法人日本包装技術協会主催の「2022 日本パッケージングコンテスト」において、王子グループから最高賞である経済産業大臣賞を含む 7 作品が入賞致しましたことをお知らせいたします。同コンテストは、優れたパッケージとその技術を開発普及することを目的として実施されております。

今後も王子グループの総力をあげ、これまで培った技術に新しい発想を加えた新製品開発と提案を行い、お客様のニーズにきめ細かくお応えしながら、持続可能な社会の実現に取り組んでまいります。

なお、入賞作品は、2022年10月12日(水)~14日(金)の期間、東京ビッグサイトにて開催される「東京国際包装展(東京パック2022)」の特別ブース『2022 グッドパッケージング展』にて展示されます。

### ■ジャパンスター賞/経済産業大臣賞

#### 『海外向けシート輸送固定材のオール段ボール化改善』

スズキ(株)様/王子コンテナ(株)



従来海外向けシート(座席)の発送荷姿には、以下の課題があった。①収容効率が悪い②スチール材のためコストが高い③固定時にシートをスライドさせ、36本のボルト締めなど、作業性が悪い。今回、軽量で設計自由度が高く、リサイクルし易い段ボールの採用により、①跳ね上げ防止構造開発、6脚→8脚入れ②コストダウン、リサイクル化③固定時のスライド作業、ボルト固定廃止、の改善を実施し効果金額▲3,000万円/年を実現した。

### ■包装部門賞/飲料包装部門賞

#### 『1本飲めば、環境保全活動の第1歩!SDGsに沿ったカラフルスムージーパッケージ』

(株)ふくれん様/日本財団「海と日本プロジェクト」様/RKB毎日放送(株)様/日本テトラパック(株)様/日本ストロー(株)様/王子コンテナ(株)/株岡山製紙



6社協業の「ふくれん×海と日本プロジェクト CHANGE FOR THE BLUE」コラボ商品として、SDGsへ対応した飲料とパッケージの開発および販売促進活動を行った。POP(トレイ、什器)には、デジタル印刷段ボールを採用した。紙パックは、「テトラパックリサイクル便」にて無償回収する。バイオマスプラ(バイオPE)を25%以上配合した「バイオストロー」を採用した。段ボールはリサイクル率90%強の一般段ボールを使用。パックデザインを反映したデジタル印刷を採用した。紙パックに印刷したQRコードから、キャラクター「分別くん」が楽しく「ごみ分別」を伝えるアニメ動画が視聴できる。

## ■包装部門賞／化粧品包装部門賞

### 『アルビオン プリンプ パウダレスト』

(株)アルビオン様／(株)吉野工業所様／上六印刷(株)様／王子ホールディングス(株)



シルバーのラインが引き立つミニマルな形状で、洗練された美しさを追求。血色感のある色と質感で、素肌のようなやわらかさを表現した。詰替用容器は従来のプラスチック容器から新たにパルプ製容器を採用し、プラスチックレス化を実現した。また、デリケートな中身を衝撃から守るための機能面に加え、色や質感においても繊細な調整を重ねた。箱の形状は、別添能書の替わりとして説明文を内側へ記載したスリーブ状にし、紙の使用量を削減した。

## ■包装部門賞／POP・店頭販売包装部門賞

### 『苺 2 パック用 6 角手提箱』

水戸農業協同組合様／森紙業グループ



JA 水戸様の直売所での苺 2 パック用販売において、他産地にはない 6 角形状手提箱を開発した。底面はアメリカンロック形状にすることで底抜けせず、6 角形状の箱組みを容易にした。天面は持ち帰りに便利な手提げ形状を採用。角面部分の穴に、中身の苺パックの縁が掛かることにより固定され、輸送時に中身を安定させる事が実現できた。形状とデザイン提案により産地のブランド化に繋がるものとした。

## ■包装部門賞／輸送包装部門賞

### 『新開発フラップの反発を抑えるアーチ状罫線』

(株)ADEKA 様／王子コンテナ(株)



強度のある材質を使った 0201 形でもフラップの反発を抑え、テープ封緘で隙間ができない外装箱を開発した。従来、フラップの反発を抑える方法として、0201 形のフラップ罫線を段違いにし全抜き加工していたが、0201 形の製造よりも 1 工程多く、コストアップとなっていた。そこで、外フラップに円弧状の罫線を追加し、外フラップの反発力を低減させ、内フラップの罫線下にも罫線を追加し、フラップを重なりやすくした。この結果、0201 形と同じ工程で製造でき、段ボール使用量を約 6%削減、リードタイムも短縮することができた。

## ■包装部門賞／工業包装部門賞

### 『F.C.C.31H 北米向け八角カートン』

(株)エフ・シー・シー様／ムサシ王子コンテナ(株)



ATV(四輪バギー)用の駆動系部品の包装で、アメリカの組立工場へと輸出される。これまでもコストダウンと梱包作業改善を行ってきたが、梱包現場は深刻な人手不足の問題を抱えており、作業工数の削減は急務であり、包装仕様改善を実施すべく、新包材の開発に着手した。外装箱の八角形化、外装箱の底面のアメリカンロック部と付属仕切材を一体構造化を行った結果、箱形状の変更による箱圧縮強度向上による材質見直し、底部構造と材料ロス低減の工夫などの改善を施した。この結果、包材コスト-35%、組立工数-20%を実現した。

## ■包装部門賞／大型・重量物包装部門賞

### 『【脱スチール】CO<sub>2</sub>削減を実現したサステナブルな段ボール梱包』

王子インターパック(株)



自動車シート用原反ロール(長さ 1700×直径 300mm)の包装で、従来ワンウェイ・スチールラック(内寸 2200×1110×1010 mm)に収納していたが、デットスペースが大きくコンテナ積載効率に無駄が生じていた。また荷詰めの際、支柱で怪我の恐れがあり、安全面を最優先とした改善が求められた。そこで積載効率と作業効率向上を踏まえた改善を行った結果、外寸容積 24%削減でき、1コンテナあたりの入り数が 20%増加し、40ft コンテナの使用本数は 15%削減。ケース組立工数は 80%削減し、結果年間トータルコストが 4,680 万円削減。年間 CO<sub>2</sub> 排出は 55%(1,200トン)削減効果が得られた。

#### 本件に関する問い合わせ先

王子産業資材マネジメント株式会社 クリエイティブ本部 田口  
TEL: 03-5550-3065

王子ホールディングス株式会社 広報IR部  
TEL: 03-3563-4523 E-mail: [oji-holdings@oji-gr.com](mailto:oji-holdings@oji-gr.com)